白河第二中学校
学校だより

高嶺

白河第二中学校　第１８号
令和２年　７月３１日
文責：校長　小林　敏史

１学期、無事終えることができました

本日で１学期も終了となりました。「新型コロナ感染症」という、今まで誰も経験したことのない困難に直面しながらも、無事この日を迎えられたことをうれしく思います。様々な我慢を強いられた１学期でしたが、笑顔を忘れないようにと頑張る皆さんは、とてもとても立派だと思いました。感染症の終息は、まだまだ先かもしれませんが、みんなで心をひとつにして、１日１日乗り越えていきましょう。

令和２年度　第１学期終業式　式辞　※　抜粋

本日で１学期を無事終えることができます。皆さんにとってこの１学期はどんな日々でしたか？
１年生の皆さん、入学当初抱いていた不安は消えましたか？　期待や希望はさらに大きくふくらみましたか？　いろんな事に挑戦することができましたか？
２年生の皆さん、先輩と呼ばれるようになって４ヶ月が経ちました。自分自身納得のできる先輩になることができましたか？
３年生の皆さん、将来のあるべき自分の姿をイメージできるようになりましたか？
今皆さんに尋ねたことは、１年生は入学式で、２，３年生は始業式でお話ししたことです。覚えていたでしょうか？
さて、私も自分自身の１学期を振り返ってみました。
新しい学校の環境に慣れるまで、期待と不安が入り交じって複雑な心境だったことはもちろんですが、コロナに始まり、コロナに追われ、日々いろんなことに悩んだり、迷ったり、不安になったりしました。でも、「前に進むしかない！」と自分自身を励ます毎日でした。
失敗もたくさんしました。「ああ、やっぱりこうすれば良かったかな。」「なぜあのときこうしなかったんだろう。」と、毎日が反省の連続でした　皆さんはどうでしたか？
でもこれは当然のことです。完璧な人間などいないのですから、失敗や過ちがあって当たり前です。
私は、私たちが日々の生活の中で起こす失敗やつまづきは、より良い人間に近づくためのチャンスだと思うようにしています。失敗やつまづきがあるからこそ、新しい気づきがあったり、より良い判断ができるようになったりと、また一歩成長できると思うからです。
辛いこと、悲しいことも同じ。それを経験するから、同じ立場の人の気持ちが分かる人になれます。
悩んだり苦しんだりすることも同じ。それを経験するから、深く物事を考えることができるようになります。そして、嬉しいこと、楽しいことは、次のステージに向かうエネルギーになります。
つまり、私たちの毎日経験している「嬉しいこと」「楽しいこと」「悔しいこと」「悲しいこと」という一つ一つの出来事に、無駄なことなどないということです。
確かに毎日笑顔で穏やかに暮らせたら、こんなにいいことはありません。幸せですよね。でも「喜怒哀楽」という人間の持つ感情があふれる生活は、もっと大きな幸せをつかむために必要な事なのではないかと思います。

夏休みは約２週間ちょっとです。短い期間ですが、今お話ししたような経験をできるだけ積んで、また一歩成長して、２学期にいいスタートを切りましょう。
８月１９日、始業式の日に皆さんのたくさんの笑顔に会えることを楽しみにしています。

校舎新築工事が始まります！

いよいよ校舎新築工事が始まります。第１期工事（Ｒ２・８月～Ｒ３・１０月）は、木造校舎解体と新体育館及び北校舎の建設です。工事の関係で、夏季休業中の職員玄関、生徒昇降口や駐輪場、保護者来校時の車両の動線等が変更になります。
詳細は本日配付した「新校舎建設に伴うお願い」という文書をご覧いただき、ご確認ください。
特にお車で来校される際は、工事車両の出入りもありますので十分ご注意ください。

〈２学期　第１週の予定〉

日	曜	主　な　行　事
17	月	夏季休業
18	火	夏季休業
19	水	第２学期始業式　職員会議　部活動なし ※１４：００一斉下校
20	木	Ｂ日課　眼科検診（１の１～２の３）
21	金	白衣交換

◇◇ 今週の言葉 ◇◇

**言い訳する暇があったら、
できる限りのことをする！**

～ という気持ちで、１日１日過ごせれば・・・ ～